

**OXIDE**

株式会社オキサイド

2026年2月期 第3四半期

# 決算補足説明資料

2026年1月14日

東証グロース:6521

豊かな未来を 光の技術で実現する

Copyright: 2026 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

決算補足説明資料に基づいて、ご説明させていただきます。

# Agenda

**OXIDE**

- 01.** 2026年2月期 第3四半期決算 連結業績
- 02.** 事業別業績 [半導体・ヘルスケア・新領域]

こちらが本日のアジェンダとなっております。

## 2026年2月期 第3四半期決算ハイライト

OXIDE

■ 第3四半期累計売上高は前年同期を上回り、通期予想・中期経営目標の達成に向けて着実に成長軌道を歩んでいます。

	売上高	営業損益	EBITDAマージン
第3四半期	<b>22億6百万円</b> 予想比 +1億15百万円 前年同期比 ▲1億16百万円	<b>▲68百万円</b> 予想比 ▲1億円 前年同期比 ▲1億8百万円	<b>7.5%</b> 予想比 ▲4.3% 前年同期比 ▲5.8%
第3四半期累計	<b>63億57百万円</b> 予想比 +2億90百万円 前年同期比 +6億36百万円	<b>▲2億58百万円</b> 予想比 ▲3億40百万円 前年同期比 +97百万円	<b>6.7%</b> 予想比 ▲5.4% 前年同期比 ▲1.1%

こちらが2026年2月期 第3四半期決算ハイライトです。

第3四半期累計売上高は前年同期を上回り、通期予想・中期経営目標の達成に向けて着実に成長軌道を歩んでいます。

詳細は次のページからご説明いたします。

01.連結業績

2026年2月期 第3四半期累計実績



- 売上高 63億5,700万円(予想対比2億9,000万円増収、前年同期比6億3,600万円増収)
- 営業損失 2億5,800万円(予想対比3億4,000万円減益、前年同期比9,700万円増益)

項目	26年2月期 1Q※1			26年2月期 2Q			26年2月期 3Q			26年2月期 3Q累計			(参考) 25年2月期 3Q累計	前年同期比	26年2月期 通期予想
	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比			
売上高	1,814	1,787	▲ 26	2,162	2,363	+ 201	2,091	2,206	+ 115	6,067	6,357	+ 290	5,721	+ 636	8,713
営業損益	▲ 215	▲ 72	+ 142	265	▲ 117	▲ 382	32	▲ 68	▲ 100	82	▲ 258	▲ 340	▲ 356	+ 97	409
(営業利益率)	▲11.9%	▲4.0%	+ 7.8%	12.3%	▲5.0%	▲17.2%	1.5%	▲3.1%	▲4.6%	1.4%	▲4.1%	▲5.4%	▲6.2%	+ 2.2%	4.7%
研究開発費	337	465	+ 127	282	241	▲ 41	306	251	▲ 54	926	958	+ 32	992	▲ 33	1,330
EBITDA※2	6	154	+ 147	479	108	▲ 370	246	165	▲ 81	732	429	▲ 303	446	▲ 17	1,278
(EBITDAマージン) ※3	0.4%	8.6%	+ 8.3%	22.2%	4.6%	▲17.6%	11.8%	7.5%	▲4.3%	12.1%	6.7%	▲5.3%	7.8%	▲1.1%	14.7%

※1 「26年2月期」は「2025年3月～2026年2月末」の会計年度を指します。  
※2 EBITDA:営業利益に償却費(減価償却費・のれん償却等を含む)を加えた数値 ※3 EBITDAマージン:EBITDA÷売上高

2026年2月期の第3四半期累計実績についてご説明いたします。

売上高は、63億5,700万円となりました。予想対比2億9,000万円増収、前年同期比6億3,600万円増収です。

営業損失は、2億5,800万円となりました。予想対比3億4,000万円減益、前年同期比9,700万円増益です。

通期連結営業損益の着地見込み



■ 第3四半期累計連結営業損益は、OXIDE単体およびOPCでは概ね予想通りに推移したものの、Raicolで3億2,900万円予想を下回りました。これに対して、様々な営業利益創出案件に取り組んでおり、通期業績予想に変更はございません。

【第4四半期営業利益の予想比増加の主な要因】

- 新領域事業 約3億円：データセンター向けファラデー回転子の追加出荷、OPCでの費用圧縮
- 半導体事業 約1億円：深紫外レーザ・単結晶の出荷増と次世代レーザ開発受託

(単位:百万円)

項目	26年2月期 上半期			26年2月期 3Q			26年2月期 3Q累計			26年2月期 4Q			26年2月期 通期		
	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	見込	予想比	予想	見込	予想比
連結営業損益※1	50	▲ 189	▲ 240	32	▲ 68	▲ 100	82	▲ 258	▲ 340	326	667	+ 340	409	409	+ 0
OXIDE単体	277	312	+ 35	93	97	+ 3	371	410	+ 38	451	800	+ 348	822	1,210	+ 387
Raicol	▲ 57	▲ 285	▲ 228	4	▲ 97	▲ 101	▲ 53	▲ 382	▲ 329	31	▲ 50	▲ 81	▲ 21	▲ 432	▲ 411
OPC※2	▲ 169	▲ 196	▲ 26	▲ 65	▲ 78	▲ 13	▲ 235	▲ 274	▲ 39	▲ 156	▲ 106	+ 50	▲ 391	▲ 380	10

※1 連結と各内訳数字合計の差異は、連結調整によるものです。

※2 OPC:当社100%子会社で、SiC事業に取り組むオキサイドパワークリスタル社の略称です。

第3四半期累計連結営業損益は、オキサイド単体およびOPCでは概ね予想通りに推移したものの、Raicolで3億2,900万円予想を下回りました。  
これに対して、様々な営業利益創出案件に取り組んでおり、通期業績予想に変更はございません。

## 02.事業別業績

## 半導体 | 売上高

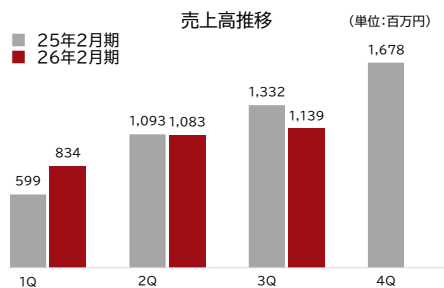
OXIDE

■ 半導体事業の第3四半期累計売上高は、予想通り30億5,800万円となりました。

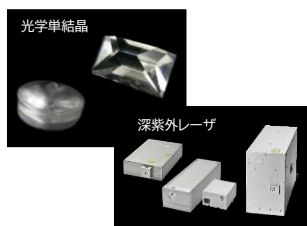
■ 12月に発表した新製品や既存の深紫外レーザ・単結晶への引き合いが強く、第4四半期以降での出荷に向けて取り組んでいます。

(単位:百万円)

項目	26年2月期 1Q			26年2月期 2Q			26年2月期 3Q			26年2月期 3Q累計			(参考) 25年2月期 3Q累計	前年同期比	26年2月期 通期予想
	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比			
売上高	890	834	▲ 55	1,068	1,083	+ 15	1,061	1,139	+ 78	3,020	3,058	+ 37	3,025	+ 32	4,555



半導体ウエハ欠陥検査装置に用いる当社の製品群



半導体ウエハ欠陥検査装置



イメージ写真

Copyright: 2026 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

6

事業別の業績についてご説明いたします。

まず、半導体事業の第3四半期累計売上高は、予想通り30億5,800万円となりました。

12月に発表した新製品や既存の深紫外レーザ・単結晶への引き合いが強く、第4四半期以降での出荷に向けて取り組んでいます。

## 02.事業別業績

## ヘルスケア | 売上高

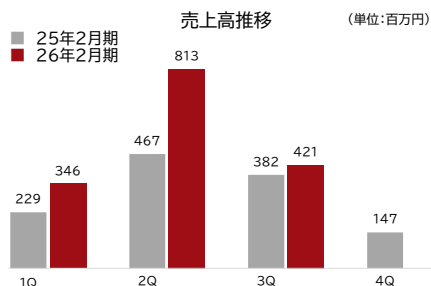
OXIDE

■ヘルスケア事業の第3四半期累計売上高は、予想を上回り15億8,200万円となりました。

■新規顧客である高性能PETトップメーカーへの出荷が寄与し、前年同期比5億300万円の増収となりました。

(単位:百万円)

項目	26年2月期 1Q			26年2月期 2Q			26年2月期 3Q			26年2月期 3Q累計			(参考) 25年2月期 3Q累計	前年同期比	26年2月期
	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比			通期予想
売上高	401	346	▲ 55	584	813	+ 229	534	421	▲ 112	1,521	1,582	+ 61	1,078	+ 503	2,170



Copyright: 2026 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

7

ヘルスケア事業についてご説明いたします。

ヘルスケア事業の第3四半期累計売上高は、予想を上回り15億8,200万円となりました。

新規顧客である高性能PETトップメーカーへの出荷が寄与し、前年同期比5億300万円の増収となりました。

## 新領域 | 売上高

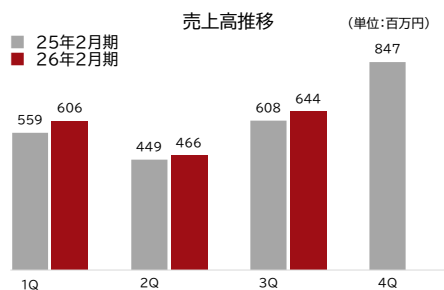
OXIDE

■ 新領域事業の第3四半期累計売上高は、17億1,700万円となりました。

■ 生成AIの普及に伴うデータセンターの需要拡大により、ファラデー回転子の出荷が増加し、予想対比1億9,100万円、前年同期比1億円の増収となりました。

(単位:百万円)

項目	26年2月期 1Q			26年2月期 2Q			26年2月期 3Q			26年2月期 3Q累計			(参考) 25年2月期 3Q累計	前年同期比	26年2月期 通期予想
	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比	予想	実績	予想比			
売上高	521	606	+ 84	509	466	▲ 43	495	644	+ 149	1,526	1,717	+ 191	1,617	+ 100	1,987



新領域事業についてご説明いたします。

新領域事業の第3四半期累計売上高は、17億1,700万円となりました。

生成AIの普及に伴うデータセンターの需要拡大により、ファラデー回転子の出荷が増加し、予想対比1億9,100万円、前年同期比1億円の増収となりました。



## 193nm全固体レーザー

フォトマスク欠陥検査、次世代ウエハ欠陥検査などの高解像度を必要とする検査装置市場に新たに参入します。

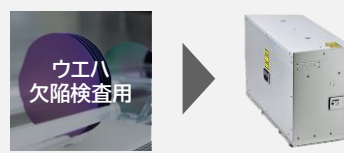
- ArFエキシマレーザーと同じ波長193nmを全固体レーザーで実現
- ArFリソグラフィ用フォトマスク検査に対応
- 医療分野、光学素子検査など幅広い分野での活用も期待



## 266nm高出力レーザー

ウエハ欠陥検査の高スループット化に貢献し、既存市場のシェア拡大を目指します。

- 従来機の3～4Wに対し、標準8W・最大12Wの高出力化を実現し、ウエハ検査の感度とスループットを飛躍的に向上
- 従来機と同筐体サイズを維持しており、既存の検査装置への導入も容易な省スペース設計



1月20日より米国サンフランシスコで開催される、光学分野の世界最大級の展示会「SPIE Photonics West 2026」に出展予定です。

半導体事業の新製品「193nm全固体レーザー」と「266nm高出力レーザー」をご紹介します。

193nm全固体レーザーでは、フォトマスク欠陥検査、次世代ウエハ欠陥検査などの高解像度を必要とする検査装置市場に新たに参入します。

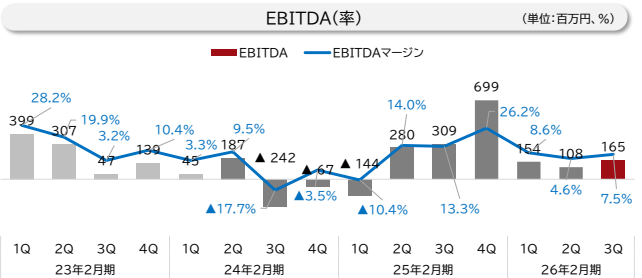
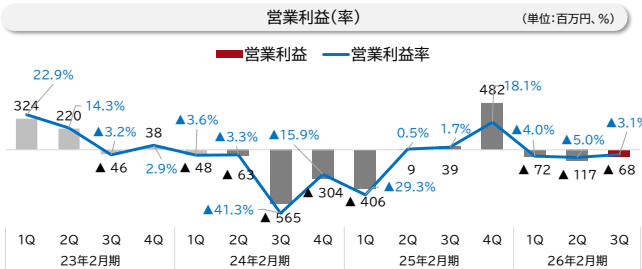
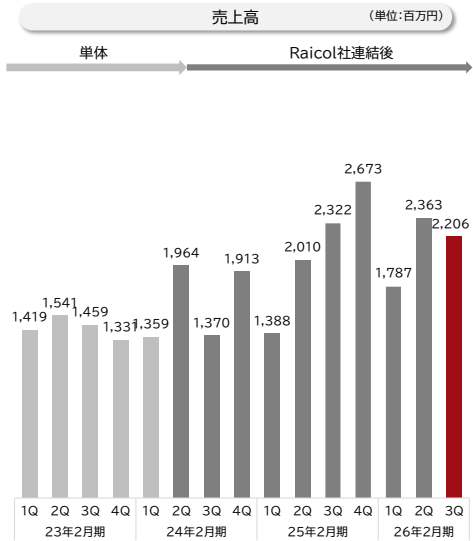
266nm高出力レーザーはウエハ欠陥検査の高スループット化に貢献し、既存市場のシェア拡大を目指します。

両製品は1月20日より米国サンフランシスコで開催される、光学分野の世界最大級の展示会「SPIE Photonics West 2026」に出展予定です。

# Appendix

財務トレンド

OXIDE



※2024年2月期第4四半期にて、Raicol社の子会社化に伴うPPAの確定により、取得原価の配分を見直しました。  
このため、2024年2月期第2四半期及び第3四半期の数値は、遡及後のものとなっております。

# OXIDE

## ディスクレイマー

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。

実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。

当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。

本資料に記載された金額は表示単位未満を切り捨て処理、比率は表示単位未満を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

2024年2月期第4四半期にて、Raicol社の子会社化に伴うPPAの確定により、取得原価の配分を見直しました。このため、2024年2月期第2四半期及び第3四半期の数値は、遡及後のものとなっております。

豊かな未来を光の技術で実現する

<https://www.opt-oxide.com>

Copyright: 2026 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.